

安全データシート【SDS-GHS】

(1) 製品及び会社情報

製 品 名	ヒーター用潤滑焼付防止剤 M-HLB
用 途	放熱・潤滑コーティング (金属表面塗膜形成剤)
会社情報	会 社 名 : 株式会社ミスミ 住 所 : 東京都文京区後楽 2-5-1 飯田橋ファーストビル 担当部門 : 成形事業部 電話番号 : 0120-343-615 FAX. 番号 : 03-5805-7191

(2) 危険有害性の要約

シンボル・注意喚起語  危 険		危険有害性情報 飲み込むと有害 重篤な薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 皮膚刺激
物理的・化学的危険性	引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過氧化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 両性金属 (Al, Zn等) に対して腐食性あり。
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発癌性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臓器毒性(反復暴露) 吸引性呼吸器有害性	区分 4 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 区分 1 B 区分 1 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 分類できない(データなし) 分類できない(データなし)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	区分外 分類できない(データなし)

(3) 組成及び成分情報

単一・混合物の区別	混合物					
危険成分及び含有量						
化 学 成 分	含有率(%)	CAS No.	PRTR法	消防法	毒劇法	他
珪酸リチウム・ナトリウム 窒化ボロン アルミナ	13-15 16-17 2	非開示 10043-11-5 非開示	非該当 1-405 1-132, 1-31	非該当 非該当 非該当	非該当 非該当 非該当	

(4) 応急処置

吸入した場合	水で十分うがいをし、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	触れた部分を、水又は微温湯でヌルヌル感や刺激が無くなるまで流し落とす。 外観に変化が見られたり、痛み、痒みが出たりした時は直ちに医師の診断を受ける。 汚染された衣服などは脱いで清浄なものと取り替える。
目に入った場合	直ちに流水にて最低 15 分間洗浄した後、眼科医の診断を受ける。 洗眼の際、瞼を指で良く開いて、眼球、瞼の隅々まで良く水が行き渡るようにする。 コンタクトレンズは、固着していない限り直ちに外す。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、多量の水を飲ませて可能であれば吐き出させる。 無理に吐き出させないこと。直ちに医師の処置を受ける。 被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

(5) 火災時の処置

適切な消火剤	水噴霧、粉末、泡、周辺の火災に適した消火剤
使ってはならない消火剤	特になし
消火方法	この製品自体は燃焼しない。 周辺火災の場合、火元への燃焼源を断ち適切な消火剤を使用して消火する。
消火時の注意	① 消火作業の際は風上から行い、必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。 ② 火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
特有の危険有害性	特になし
消火を行う者の保護	消火作業時には必ず保護具を着用する。

(6) 漏出時の措置

人体に対する注意	作業の際には、保護具(メガネ, 手袋, 長靴等)を着用し、飛沫等が眼、皮膚や衣服などに付着しないようにする。
保護具	飛沫防止用保護眼鏡、不浸透性の手袋、長靴
緊急時措置	危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去処理方法	① 速やかに漏洩箇所の漏れを止める。 ② 乾燥砂、おがくず、ウェス等に吸収させて除去する。残りは大量の水で洗い流す。
二次災害防止策	特になし

(7) 取扱い及び保管上の注意

取扱事項	取扱者の暴露防止策	① 眼、皮膚及び衣服に触れないように、適切な保護具を用いる。 ② 取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。 ③ 粉体が沈降するので、使用前に均一になるまで攪拌してから使用すること。
	火災・爆発防止策	この製品自体は燃焼・爆発しない。
	注意事項	① 容器を転倒、落下させたり、衝撃を加える等の乱暴な取り扱いをしない。 ② 作業後は手洗い、洗眼、うがいをする。
保管事項	混触危険物質	アルミニウム, 亜鉛, 錫, 鉛等の両性金属、 強酸
	保管条件	常温で換気の良い場所に、湿気を避けて容器を密閉して保管すること。 0℃以下の場所に保管しないこと。
	容器包装材料	ステンレスもしくはポリエチレン製の容器が望ましい。

(8) 暴露防止及び保護措置

暴露限界値	設定されていない
許容濃度	日本産業衛生学会(2016年度版) Coとして0.05mg/m ³ , Sbとして0.1mg/m ³ (セラミック顔料) ACGIH (2015年度版) Coとして0.02mg/m ³ , Sbとして0.1mg/m ³ (セラミック顔料)
設備対策	取扱場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具 : 防塵マスク又は簡易マスク 手の保護具 : 不浸透性保護手袋 眼の保護具 : 飛沫防止用保護眼鏡 (作業者はコンタクトレンズを使用しないこと) 身体の保護具 : 不浸透性の保護服

(9) 物理的及び化学的性質

外観	緑黄色スラリー	pH	11前後
臭気	なし	爆発限界範囲	爆発性なし
比重	1.3	蒸気圧	情報なし
融点・凝固点	0℃以下	蒸気密度	情報なし
沸点	100～120℃	揮発性	情報なし
引火点	引火性なし	溶解性(水)	易希釈
自然発火温度	発火性なし	分解温度	分解性なし
粘度	20～30 Pa・s	その他	特になし

(10) 安全性及び反応性

安定性	安定性 可燃性 発火性 酸化性	安定 なし なし なし
反応性	水との反応性 自己反応性 爆発性	なし なし なし
避けるべき条件		容器の蓋を開けたままにしてはならない。(乾燥の危険)
混触危険物質		アルミニウム、錫、亜鉛、鉛等の両性金属とは接触させない。 濃厚な酸を加えてはならない。
危険有害な分解生成物		特になし

(11) 有毒性情報

急性毒性 (吸入) (経皮) (経口)	分類できない (データなし) 分類できない (データなし)
皮膚腐食性・刺激性	区分4; LD50 1,600 mg/kg (rat), LD50 1,100 mg/kg (rabbit)
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分1A; pH11の塩基成分が1%以上含有されているため区分1Aとした。
呼吸器感作性	区分1; pH11の塩基成分が1%以上含有されているため区分1Aとした。
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	IARC, ACGIH, NTP, EPAに記載がないため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	情報がないため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	情報がないため分類できない。

(12) 環境影響情報

生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中移動性 オゾン層有害性	水生環境急性有害性： 区分外 水生環境慢性有害性： データ不足のため分類できない データなし データなし データなし
---	--

(13) 廃棄上の注意

廃棄の方法	・ 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 ・ 水で希釈後、塩酸・硫酸等で中和し、沈殿物を濾過分離する。(不燃物として処理) ・ 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上で処理を委託する。
容器・包装の処理	・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

(14) 輸送上の注意

注意事項	・ 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 ・ 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。																						
国内規制	陸上規制情報： 特段の規制なし 海上規制情報： その他の腐食性物質(液体。他の危険性を有しないもの) 航空規制情報： その他の腐食性物質(液体。他の危険性を有しないもの)																						
国際規制	<table><tr><td colspan="2">IMDG (国際海上危険物規則)コード</td></tr><tr><td>国連番号</td><td>3266 (腐食性物質、無機物、アルカリ性のもの)</td></tr><tr><td>品名(国連輸送名)</td><td>CORROSIVE LIQUID. N. O. S</td></tr><tr><td>国連分類</td><td>8 (腐食性物質)</td></tr><tr><td>容器等級</td><td>III</td></tr><tr><td>海洋汚染物質</td><td>情報なし</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">ICAO-T1 (国際民間航空機関技術指針)</td></tr><tr><td>国連番号</td><td>3266 (腐食性物質、無機物、アルカリ性のもの)</td></tr><tr><td>品名(国連輸送名)</td><td>CORROSIVE LIQUID. N. O. S</td></tr><tr><td>国連分類</td><td>8 (腐食性物質)</td></tr><tr><td>包装等級</td><td>III</td></tr></table>	IMDG (国際海上危険物規則)コード		国連番号	3266 (腐食性物質、無機物、アルカリ性のもの)	品名(国連輸送名)	CORROSIVE LIQUID. N. O. S	国連分類	8 (腐食性物質)	容器等級	III	海洋汚染物質	情報なし	ICAO-T1 (国際民間航空機関技術指針)		国連番号	3266 (腐食性物質、無機物、アルカリ性のもの)	品名(国連輸送名)	CORROSIVE LIQUID. N. O. S	国連分類	8 (腐食性物質)	包装等級	III
IMDG (国際海上危険物規則)コード																							
国連番号	3266 (腐食性物質、無機物、アルカリ性のもの)																						
品名(国連輸送名)	CORROSIVE LIQUID. N. O. S																						
国連分類	8 (腐食性物質)																						
容器等級	III																						
海洋汚染物質	情報なし																						
ICAO-T1 (国際民間航空機関技術指針)																							
国連番号	3266 (腐食性物質、無機物、アルカリ性のもの)																						
品名(国連輸送名)	CORROSIVE LIQUID. N. O. S																						
国連分類	8 (腐食性物質)																						
包装等級	III																						

(15) 適用法令

労働安全衛生法	： 該当せず
化学物質管理促進法 (PRTR)	： 1-405(酸素化合物), 1-132(コハルト化合物), 1-31(アジベン化合物)
毒物及び劇物取締法	： 該当せず
消防法	： 該当せず
船舶安全法	： 腐食性物質 (水酸化ナトリウム)
航空法	： 腐食性物質 (水酸化ナトリウム)

(16) その他の情報

- ① 記載内容は、現時点で入手出来た資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。又、新たに得られた知見によって改訂されることがあります。
- ② 化学物質の有害性には予測出来ない事もあります。 取り扱いにはご使用者各位の責任に於いて、細心の注意を払ってお取り扱い下さい。
- ③ 特に医療用途では使用しないで下さい。

引用文献:

- 1) 原材料メーカーの製品安全データシート
- 2) 労働安全衛生法対象物質全データ (化学工業日報社)
- 3) 化学物質管理促進法対象物質全データ (化学工業日報社)
- 4) A Guide to The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS)
- 5) 15308の化学商品 (化学工業日報社)

SDS 作成 (改訂) 日: 2020 年 03 月 4 日